

2015年春季シンポジウム（第73回） 「これまでとこれからのOR」

日 時：2015年3月25日（水）13:00～17:40

場 所：東京理科大学神楽坂キャンパス2号館1階212教室（東京都新宿区神楽坂1-3）

<http://www.tus.ac.jp/info/campus/kagurazaka.html>

実行委員長：生田目 崇（中央大学）

プログラム：

13:00～13:05 開催のあいさつ

13:05～13:45

講演1「南山大学のOR教育・研究・実践」

講師：佐々木美裕 氏（南山大学理工学部）

概要：南山大学では、2000年に数理情報学部（現理工学部）を設置して以来、ORを実践する技術者の育成を目指して教育・研究に力を入れてきた。また、ORの手法を用いて実際問題の解決にも積極的に取り組んできた。これまでの実践例をいくつか紹介したあと、OR普及のための鍵は何なのか？という問いについて、卒業生の声を交え、また、私自身が大学で学生・教員として過ごした経験から感じることに論じる。

13:45～14:25

講演2「ORと経済学の「結婚」問題」

講師：安田洋祐 氏（大阪大学大学院経済学研究科）

概要：ORと経済学の両分野にまたがる研究テーマやトピックは少なくない。実際、経済学系ジャーナルに投稿されるOR研究者も少なくなく、分野の垣根を超えた共同研究も見られる。本講演では、私自身が行っているマッチング理論（安定結婚問題）研究や、大学院でのゲーム理論講義などを題材として、両分野の研究スタイルの違い、コラボレーションの進展、そして将来の方向性などについて論じる。

14:35～15:15

講演3「日本発イノベーション：世界に通用する事業化に向けて～シリコンバレーからの視点～」

講師：石井正純 氏（AZCA Inc.）

概要：シリコンバレーは60年の年月をかけてイノベーションのエコシステムを醸成してきた。そして、最近には特にデータサイエンスなどORの世界でも多くのイノベーションが起きている。一方、世界に通用するイノベーションは日本でも数多くみられるようになったが、グローバル・スタンダードになるものは多いとは言えない。本講演では、日本発イノベーションの世界に通用する事業化についての課題と解決策をシリコンバレーからの視点を交えて議論する。

15:15～15:55

講演4「ORの未来像—分析の科学から統合の科学へ—」

講師：住田 潮 氏（筑波大学大学院システム情報工学研究科）

概要：まず、ORの研究のこれまでの変遷を、成長経済から成熟経済への移行、80年代後半から始まったインターネット革命とグローバル・メガコンペティションによる環境の激変といった、経済・社会・情報環境の変化と交えて論じる。そして、これまでの工学的アプローチの限界について指摘し、今後、時代が要請する方法論の本質について指摘する。最後に、今後ORが果たすべき未来像について提言する。

16:10～17:40

パネルディスカッション「これまでとこれからのOR」

司会進行：八巻直一 氏（静岡大学名誉教授）

討論者：佐々木美裕 氏、安田洋祐 氏、石井正純 氏、住田 潮 氏

概要：これまでの講演内容をもとに、これまでのORの役割と、今後の発展について議論する。なお、会場からの質問や提言なども広く募りますので、皆様の積極的な議論をお待ちします。

シンポジウムHP：http://www.orsj.or.jp/2015spring/?page_id=13

2015年春季研究発表会
OR学会統一テーマ「オリンピック・パラリンピックとOR」
特別テーマ「グローバル社会とOR」

日 時：2015年3月26日（木）、27日（金）

場 所：東京理科大学神楽坂キャンパス2号館・8号館（東京都新宿区神楽坂1-3）

<http://www.tus.ac.jp/info/campus/kagurazaka.html>

実行委員長：矢部 博（東京理科大学）

特別講演：

1. 日時：3月26日（木）14：30～15：30
講師：大宮英明 氏（日本OR学会会長・三菱重工業株式会社社長）
講演題目：「ものづくりとOR」
2. 日時：3月27日（金）13：00～14：00
講師：中根 滋 氏（東京理科大学理事長）
講演題目：「Time to Change, change or die」
3. 日時：3月27日（金）14：10～15：10
講師：近藤賞受賞者 福島雅夫 氏（南山大学教授・京都大学名誉教授）
講演題目：「均衡問題の数理モデル」

学生優秀発表賞：

本発表会では、学生による優れた発表を奨励するために、学生セッションにおける発表のうち特に優れたものに学生優秀発表賞を授与します。

参加費：

事前振込み：正・賛助会員6,000円、学生会員1,000円、非会員8,000円

当日申込み：正・賛助会員7,000円、学生会員・非会員の学生2,000円、非会員10,000円

- ・非会員の学生の方は、当日受付にて学生証提示が必要となります。
- ・非会員の方が研究発表する場合、登壇料2,000円/件を頂戴いたします。
- ・賛助会員の方には、正会員と同額の参加費でご参加いただけるほか、口数の人数分、無料でご参加いただけます。受付にて名刺をご提示いただき、アブストラクト集をお受け取りください。

懇親会：

日 時：3月26日（木）18：30～

場 所：アグネスホテルアンドアパートメンツ東京

<http://www.agneshotel.com/access/>

会 費：5,000円（事前振込み） 6,000円（当日申込み）

協賛学会：

公益社団法人日本経営工学会（JIMA）、社団法人日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・技術計画学会（JSSPRM）、一般社団法人日本設備管理学会（SOPE-J）、一般社団法人プロジェクトマネジメント学会（SPM）

2015年春季研究発表会 HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2015s>

問合せ先：春季研究発表会実行委員会（E-mail: nc2015s@orsj.or.jp）

第35回企業事例交流会

日 程：2015年3月26日（木）

場 所：東京理科大学神楽坂キャンパス2号館（東京都新宿区神楽坂1-3）

<http://www.tus.ac.jp/info/campus/kagurazaka.html>

参加方法：研究発表会のセッションとして行いますので、研究発表会参加の手続きをしてください。

プログラム

10:00～10:40

「ゲーム理論に基づく警備リソース配分の最適化」

岩下洋哲 氏（(株) 富士通研究所）

10:40～11:20

「計画系システムのユーザビリティに関する諸問題について～Jリーグ日程くんを題材に」

永井秀稔 氏（新日鉄住金ソリューションズ（株））

11:30～12:10

「[式] になっていない問題を解く：数理計画法の挑戦」

田辺隆人 氏（(株) NTTデータ数理システム）

15:50～16:30

「東京都交通需要予測プラットフォームの開発」

指尾健太郎 氏（(株) 構造計画研究所）

16:30～17:10

「大規模イベントに向けたバスの運行計画最適化」

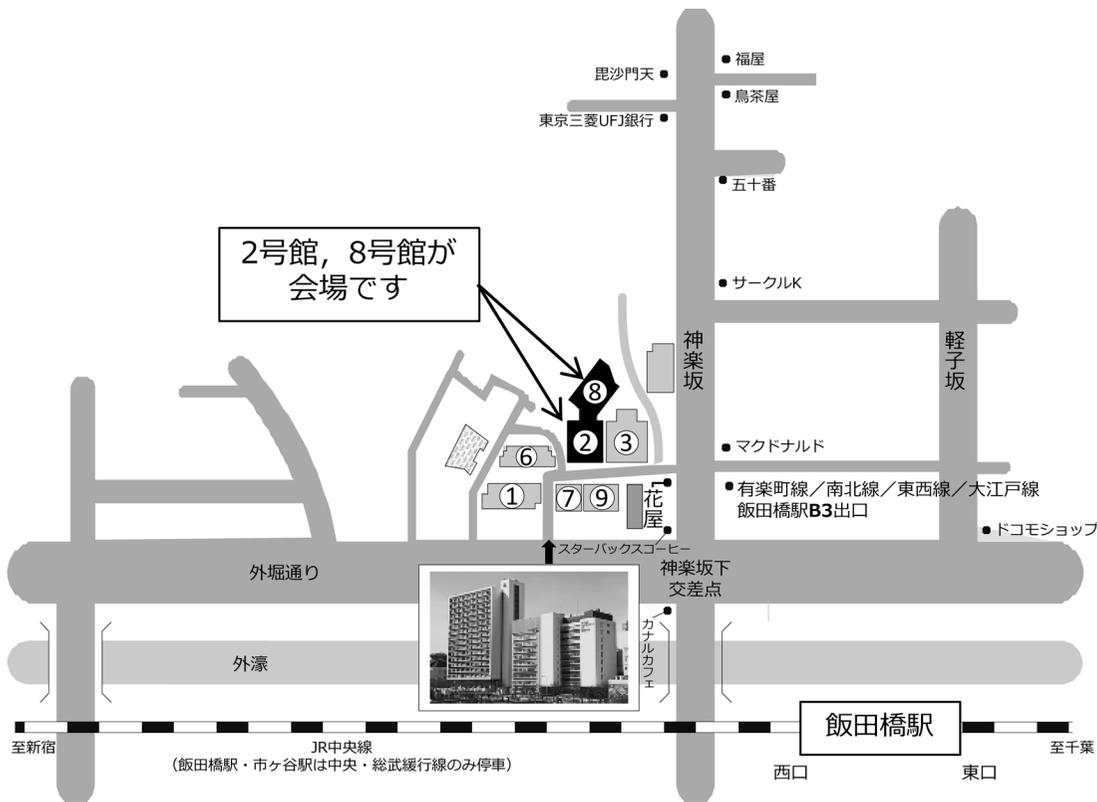
岡村彩音 氏（(株) 構造計画研究所）

問合せ先：企業事例交流会担当

片瀬成識（katase@tokyo-gas.co.jp）

東京理科大学 神楽坂キャンパスへのアクセス

<http://www.tus.ac.jp/info/campus/kagurazaka.html>



■ JR総武線, 東京メトロ有楽町線・東西線・南北線, 都営大江戸線「飯田橋」駅下車 徒歩3分

